



TITLE:

記事 (理論経済學特集)

AUTHOR(S):

CITATION:

記事 (理論経済學特集). 経済論叢 1952, 69(5-6): 313-315

ISSUE DATE:

1952-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/132252>

RIGHT:

京都大學經濟學會

經濟論叢

第六十九卷 第五・六號

我國の當面する金融問題と今後の金融政策…………… 鈴木 剛

經濟學史特集

~~~~~  
ペッティ勞働價值説の一考察…………… 松田 弘三

アダム・スミスの地代論について…………… 溝川 喜一

統計的推理と統計的法則…………… 足利 末男

ジェントリ論…………… 角山 榮

---

昭和二十七年六月

## 記事

### 經濟學會

○一月例会 一月三十一日(木) 午後一時より經濟學部共同研究室において開催され次の報告があつた。

一、プロイセン農業變革についての一考察

——貨銀勞働者の創出とその形態——

山口和男氏

(右論題にて本誌第六十九卷第三・四號に掲載)

二、近世における地主手作

——丹波國桑田郡遠山家・關家の場合——

關順也氏

(右論題にて、本誌に近々掲載發表の豫定)

○二月例会 二月二十二日(木) 午後一時より經濟學部共同研究室において開催され次の報告があつた。

一、帝國主義論の系譜

靜田均氏

一、イギリス勞働運動史上における

サンジカリズム

眞藤素一氏

○三月例会は、休暇中につき休會

### 經濟學部

○昭和二十七年年度京都大學學生入學試験は、左の通り施行せられた。

1 學力試験實施日割及實施課目

三月三日(月) 國語(國語)

三月三日(火) 數學(一般數學、解析Ⅰ、解析Ⅱ、幾何)

三月四日(火) 社會(一般社會、日本史、人文地理、時事問題、世界史、商業)

三月四日(火) 理科(物理、化學、生物、地學)

三月五日(水) 外國語(英語、ドイツ語、フランス語)

2 募集人員 經濟學部 約二〇〇名

3 入學志願者 經濟學部 一一二一名(内女子二名を含む)

4 入學試験合格者發表 三月二十日

5 合格者の傾向は、昭和二十七年三月新制高校卒業業者一〇五

名(53%) 昭和二十七年以前の新制高校卒業業者八九名

(44%) 舊制高校卒業業者及び學年修了者、他大學在學者

六名(8%)

○昭和二十六年年度京都大學卒業式は三月二十四日午前十時より本學本部大廣間にて行われ、經濟學部の學士試験合格者は二百七十二名であり、新卒業生の就職狀況は次表の如くである。

| 産業別               | 人就業 | 産業別       | 人就業   |
|-------------------|-----|-----------|-------|
| 金 属 鑛 業           | 一 九 | 百 貨 店 業   | 七 〇 二 |
| 石 炭 鑛 業           | 一 五 | 金 融 業     | 四     |
| 石 油 鑛 業           | 一   | 陸 運 業     | 八     |
| 紡 績 業             | 一 八 | 水 運 業     | 一     |
| 食 糧 品 工 業         | 二   | 通 信 業     | 一     |
| 出 版 業             | 一   | ガ ス 供 給 業 | 二     |
| 化 學 工 業           | 一 三 | 自 由 業     | 一     |
| 窯 業               | 一 八 | 公 務 員     | 一 六   |
| 金 屬 工 業           | 一 五 | 各 種 團 體   | 一     |
| 機 械 器 具 製 造 業     | 一 二 | 大 學 院 學 生 | 三     |
| 電 氣 機 械 器 具 製 造 業 | 四   | 就 職 未 定   | 二 三   |
| 貿 易 業             | 五   | 計         | 二 七 二 |

※表中、就職未定とは、就職未定者及び既に就職が決定した者であつても、學部に就職決定の届出の無き者を示す。  
向就職者の最高初任給は一七、〇〇〇圓、最低初任給は五、〇〇〇圓、平均初任給は約一〇、〇〇〇圓である。  
但し右金額は税込金額である。

○昭和二十七年年度經濟學部大學院研究奨學生（舊特別研究生）は次の通りに決定した。

| 氏 名  | 研究事項      | 學 歴 卒 業 年 次              | 指導教員  |
|------|-----------|--------------------------|-------|
| 幸尾晃洋 | 經濟政策      | 昭二六・四<br>京大經濟學部<br>大學院入學 | 豐崎教授  |
| 大槻 弘 | 封建社會經濟史   | 同                        | 堀江助教授 |
| 吉信 康 | 世界恐慌史     | 昭二七・三<br>卒業<br>京大經濟學部    | 松井教授  |
| 谷山新良 | 並びに理論     | 昭二七・三<br>卒業<br>京大經濟學部    | 佐波教授  |
| 越後和典 | 經濟政策論・交通論 | 昭二五・三<br>同               | 靜田教授  |

昭和二十七年年度  
開 講 科 目 表

| 經濟學部         | 教授      |
|--------------|---------|
| 經濟原論一部 經濟學史  | 岸本誠二郎   |
| 東 洋 經 濟 史    | 磯 積 文 雄 |
| 工業經濟論 計畫經濟論  | 靜 田 均   |
| 經濟政策 景氣政策論   | 豐 崎 稔   |
| 經濟史 日本經濟史    | 堀 江 保 藏 |
| 貨幣論 金融論      | 中 谷 實   |
| 交通論 保險論      | 佐 波 宜 平 |
| 經濟原論二部 数理統計學 | 青 山 秀 夫 |
| 經 營 學        | 田 杉 競   |
| 經濟學史 經濟哲學    | 出 口 勇 藏 |
| 財政學一・二部      | 島 恭 彦   |

